

ウィーンフィルハーモニー コンサートプログラム

- G.ロッシェニ セビアの理髪師より 「序曲」  
W.A.モーツァルト デイベルティメント 二長調 KV.136 第一楽章  
W.A.モーツァルト アイネ・クライネ・ナハト・ムジークより 「メヌエット」  
W.A.モーツァルト オペラ「ドン・ジョバンニ」より “あんたがおりこうさんならば” (ソプラノ)  
J.ブラームス ハンガリー舞曲 第1番  
F.クライスラー 愛の喜び  
J.シュトラウス父 オペレッタ「こうもり」より “公爵様、あなたの様なお方は” (ソプラノ)  
ヴィーナー・ワルツァー・ベルクシュタット 行進曲 op.23  
ヨゼフ・シュトラウス ポルカ「休暇旅行で」 op.76  
J.ハイドン 弦楽四重奏より 「セレナーデ」 No.17  
J.シュトラウス息子 ウィーン気質 op.354  
ジークフリート・フルスト “過ぎし日の逢瀬” 変ロ長調(ソプラノ)  
J.シュトラウス父 トリッチ・トラッチ・ポルカ op.214  
J.シュトラウス父 “リラの花咲くシーベリング” へ長調(ソプラノ)  
F.レハール 「メリー・ウイダー」より “ピリアの歌” (ソプラノ)  
J.シュトラウス父 ワルツ「南国のバラ」 op.388

(予定)

プロフィール

Claire Dolby

クレール・ドルビー ヴァイオリン(第一ヴァイオリン)



1974年ロンドン生まれ。  
ロンドンのギルドホール音楽院にてデビッド・タケノ氏にヴァイオリンを学ぶ。1998年、同校を優秀な成績で修士号取得。  
その後、ウィーンにてエーリッヒ・ホーバルト氏、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にてトーマス・リーベル氏に学ぶ。  
2000年～ カメラータ・アカデミカ・ザルツブルグの一人。  
2002年～ 東京アンサンブル 第二ヴァイオリン首席奏者。  
2005年～ ウィーン室内楽オーケストラ コンサートマスター。  
その他、ヨーロッパ室内管弦楽団、プレーメン・ドイツ室内フィルハーモニー管弦楽団、エイジ・オブ・インライトメント管弦楽団、バーミンガム市交響楽団にて演奏。室内楽では、アレクサンダー・ヤナチュック、ヘルベルト・マイヤー、エドガー・マイヤー、デミトリー・アシケナージ、ジェルミー・メニューイン、ジョシュア・ベルの各氏と競演。オーストリア各地にてフェスティバルに出演。  
パクスカルテット創立者及び第一ヴァイオリニスト  
2006年10月よりウィーン交響楽団一員  
2007年～ ウィーン室内楽団 第一ヴァイオリン奏者  
ドレミアンアンサンブルとドルビーズ・アラウンドの一員

Elzbieta Szymanska-Conka

エルズビエタ・シマンスカ・コンカ(第二ヴァイオリン)



1972年ポーランド生まれ。  
1994年ポーランド、ポズナン音楽院にてヤドヴィガ・カリシェヴスカ教授の下、優秀な成績で卒業。  
ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にてパウル・ロチュエック教授の下、卒業第一過程を、グラーツ音楽大学にてヤイル・クレッス教授の下、卒業第二過程を終了。  
1998年 優秀な成績にて修士取得。  
ポーランド国内で多数のコンクール出場(入賞、表彰)  
1994年～ グスタフ・マーラー・ユース・オーケストラのアカデミー奨学生  
マーラー室内楽団の一員  
2000年～ ウィーン交響楽団の第二ヴァイオリン奏者  
2006年～ 同楽団 第二ヴァイオリン首席奏者  
その他、多数のアンサンブルで活躍

Werner Frank

ヴェルナー・フランク(ヴィオラ)



1959年ウィーン生まれ。  
12歳よりヴァイオリンを始める。その後、ウィーン国立音楽大学及びウィーン音楽院にてヴァイオリンとヴィオラの双方を学ぶ。  
ウィーン・フォルクスオペラ座オーケストラで首席奏者を務めた後、1989年以降、ウィーン交響楽団の一員となる。  
ウィーンコンサート協会(ウィーン交響楽団のメンバーによって構成された室内オーケストラ)のソロヴィオラ奏者として、国内外にて演奏。  
同協会の記録保存係を担当。オーストリアの現代音楽文化を重点的に取り上げた定期演奏会“Composer in Residence”を共同創立。楽友協会のプラームスホールにて初演。  
1999年より、カレイドスコープ・アンサンブルのヴィオラ奏者。  
さらに、ウィーン室内楽団(日本にて公演、及び講習会を主に活動)や、ウィーン交響楽団、管弦楽団のパロクアンサンブルの一員として活躍。  
2001年からは、ローランド・パーティックと共に、長野やザイバースドルフ城内コンサートなどで成功を取る。  
ウィーン交響楽団協会の理事代理。

Caterina Fassetta

カテリーナ・ファセッタ(チェロ)



1970年ヴェネツィア生まれ  
8歳よりスクオーラ・ディ・ムジカ(ペッルーノ)でチェロを学ぶ。  
高校卒業後、カステルフランコ・ヴェネト音楽院に在籍。  
1994年チュエーリヒ芸術大学へ移り、ヴァルター・グリマー教授の下に学び、卒業。  
その後、ウィーン交響楽団を始めとする、名だたるウィーンのオーケストラ、劇場、及びイタリア各地のオーケストラにて幅広く活躍。  
又、多数の室内楽アンサンブルに於いて、積極的に活動し、ヨーロッパ、日本を始め、世界各地への演奏ツアーに参加。

Claudia Guarin

クラウディア・グアリン(ソプラノ)



コロンビア、ボゴタ生まれ  
2005年にウィーン国立音楽大学声楽科修了。  
それ以前は、コロンビアにてヴィオラを学び、音楽家として、またボゴタ交響楽団の一員として長年の経験を積む。  
2004年、アイゼンシュタット・ハイドン・フェスティバルにて、病欠した同輩の代わりに、その世代の有数なソプラノ歌手として歌い名を挙げる。  
アダム・フィッシャー指揮「リンフェデルタ・デルーサ」のヴェスビーナ役でデビュー。  
「...ヴェスビーナ役のクラウディア・グアリンは、パーフェクトなテクニックと広い声域、ヴェスビーナという難しい役をこなす演技力を持ち、この演出のいいところを引き出した」と専門誌から高い評価を得る。

懇親会

日時 ■ 5月28日(木) 18:30  
会場 ■ ホテル日航東京 1階「第1会場 ペガサス」

アフタヌーンコンサート

日時 ■ 5月28日(木) 13:00~13:30  
会場 ■ ホテル日航東京 1階「第7会場 ジュピター」

日時 ■ 5月29日(金) 13:00~13:30  
会場 ■ ホテル日航東京 1階「第3会場 シリウス」